

京都市告示第 2 3 1 号

地方公営企業法第 40 条の 2 及び京都市公営企業の業務状況公表に関する条例に基づき、平成 23 年 10 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの期間における京都市公営企業の業務状況を公表します。

平成 24 年 8 月 31 日

京都市長 門 川 大 作

平成23年度後期京都市自動車運送事業業務状況

1 事業概況

自動車運送事業（市バス）は、きめ細やかに張り巡らせた路線のネットワークにより、市民生活に欠くことのできない身近な公共交通機関として、また、観光客の便利で手頃な交通手段として、多様な都市活動を支えています。さらに、高齢者や障害のある方への対応、低炭素化社会の実現に向けた自家用車から公共交通への利用転換など、人や環境にやさしい交通機関としてもその重要性を増しています。

しかしながら、人口減少社会の到来により、旅客数の大幅な増加が見込めないなど、自動車運送事業を取り巻く経営環境は全国的に厳しい状況にあります。

2 経営健全化の取組

平成22年3月に議会の議決を得て策定した「京都市自動車運送事業経営健全化計画」の3年目となる平成23年度後期は、一般会計からの任意補助金に頼らない自立した運営を目指すという目標の達成に向けて、一層の経営健全化に取り組みました。

(1) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

観光シーズンを中心とした臨時輸送の増強を行うなど、積極的な利用促進に取り組むとともに、平成24年3月に実施したダイヤ改正では、水族館開業に合わせて、京都駅から直行するシャトル便の新設をはじめ、鉄道主要駅からのアクセスを充実させるとともに、清水寺や金閣寺などの観光地と水族館を結ぶ系統を増強するなど、運行の充実を図りました。また、河原町通における等間隔運行の土曜・休日への拡大、京都駅と主要な観光地を結ぶ観光系統の大幅な増便や最終バス発車時刻の繰下げなど、お客様の利便性向上に努めました。

施設等の整備については、更新したバス車両7両を環境対策とバリアフリーを推進するためハイブリッド方式ノンステップバスとするとともに、バス待ち環境の改善として、民間活力を導入した広告パネル付きバス停留所の増設、ベンチ整備数の大幅拡充、さらに市バスの接近情報を表示するバスロケーションシステムの増設などを行いました。

(2) コスト削減の取組

職員数の削減や給与カットの継続など総人件費の抑制に取り組むとともに、バス車両の更新年数を引き続き18年に延長したうえで、個々の車両状況を徹底的に精査し、計画で20両と見込んでいた更新車両数を7両に削減しました。

また、厳しい収支状況にあった定期観光バス事業については、経営健全化計画に基づき、24年3月16日に市バスによる運行を終了しました。

(3) 運輸成績

(平成23年10月1日から
平成24年3月31日まで)

| 区 分 | | 当期 | 前年同期 | 増減 | 増減比率 |
|------------|------|-------------------------|-------------------------|--------------------|------------------|
| 営業日数 (日) | | 183 | 182 | 1 | 0.5% |
| 営業キロ数 (km) | | 306.63 | 455.43 | (148.8) | 32.7% |
| 在籍車両数 (両) | | 764 | 765 | 1 | 0.1% |
| 使用車両数 (両) | 一般路線 | 122,754 (671) | 121,596 (668) | 1,158 (3) | 1.0% (0.4%) |
| | 定期観光 | 287 (2) | 359 (2) | 72 - | 20.1% - |
| | 合計 | 123,041 (673) | 121,955 (670) | 1,086 (3) | 0.9% (0.4%) |
| 走行キロ数 (km) | 一般路線 | 14,678,654 (80,211) | 14,586,609 (80,146) | 92,045 (65) | 0.6% (0.1%) |
| | 定期観光 | 16,741 (91) | 19,677 (108) | 2,936 (17) | 14.9% (15.7%) |
| | 合計 | 14,695,395 (80,302) | 14,606,286 (80,254) | 89,109 (48) | 0.6% (0.1%) |
| 旅客数 (人) | 一般路線 | 56,773,237 (310,236) | 56,102,144 (308,253) | 671,093 (1,983) | 1.2% (0.6%) |
| | 定期観光 | 11,324 (62) | 12,128 (67) | 804 (5) | 6.6% (7.5%) |
| | 合計 | 56,784,561 (310,298) | 56,114,272 (308,320) | 670,289 (1,978) | 1.2% (0.6%) |
| 旅客収入 (千円) | 一般路線 | 9,019,280 (49,286) | 8,959,670 (49,229) | 59,610 (57) | 0.7% (0.1%) |
| | 定期観光 | 40,524 (221) | 43,330 (238) | 2,806 (17) | 6.5% (7.1%) |
| | 合計 | 9,059,804 (49,507) | 9,003,000 (49,467) | 56,804 (40) | 0.6% (0.1%) |

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

注2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数値である。

注3 旅客収入は、消費税及び地方消費税を含む。

2 工事

当年度に施行した主な工事は、次のとおりである。

(1) 建設改良工事の概況

| 工 事 名 | 数量 | 金 額 | 着 工 年 月 日 | しゅん工 年 月 日 |
|-------------------------------|-----|-------------|--------------|---------------|
| バスロケーションシステム拡充 | 5 基 | 8,998,500 | 23.9.14 | 24.2.22 |
| 乗合自動車新造 ハイブリッドノンステップバス 7 両 | 7 両 | 227,991,110 | 23.11.22 | 24.3.15 |

2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

平成 23 年 10 月 1 日から
(平成 24 年 3 月 31 日まで)

| 損 失 の 部 | 金 額 | 利 益 の 部 | 金 額 |
|---------------|------------|---------------|------------|
| | 千円 | | 千円 |
| 自動車運送事業費用 | 9,862,823 | 自動車運送事業収益 | 10,388,544 |
| 営 業 費 用 | 9,391,660 | 営 業 収 益 | 9,450,041 |
| 保 存 費 | 902,145 | 運 送 収 益 | 9,144,836 |
| 運 転 費 | 4,171,122 | そ の 他 | 305,205 |
| 管 理 費 | 3,675,143 | 営 業 外 収 益 | 938,503 |
| 減 価 償 却 費 | 643,251 | 他 会 計 補 助 金 | 921,904 |
| 営 業 外 費 用 | 471,163 | 府 補 助 金 | 8,842 |
| 支 払 利 息 | 49,953 | そ の 他 | 7,757 |
| 消 費 税 | 411,557 | 特 別 利 益 | 0 |
| そ の 他 | 9,653 | 固 定 資 産 売 却 益 | 0 |
| 特 別 損 失 | 0 | | |
| そ の 他 特 別 損 失 | 0 | | |
| 当 期 純 利 益 | 525,721 | | |
| 合 計 | 10,388,544 | 合 計 | 10,388,544 |

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2)貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

| 資産の部 | 金額 | 負債及び資本の部 | 金額 |
|--------|------------|----------|-------------|
| | 千円 | | 千円 |
| 固定資産 | 25,949,389 | 固定負債 | 800,000 |
| 有形固定資産 | 25,927,157 | 他会計借入金 | 800,000 |
| 無形固定資産 | 11,232 | 流動負債 | 6,768,178 |
| 建設仮勘定 | | 一時借入金 | 4,050,000 |
| 投資 | 11,000 | 未払金 | 2,258,097 |
| 流動資産 | 1,894,996 | 預り金 | 181,435 |
| 現金預金 | 391,778 | 前受金 | 278,646 |
| 未収金 | 1,139,728 | 資本金 | 12,941,570 |
| 貯蔵品 | 70,228 | 自己資本金 | 6,755,288 |
| 前払金 | 291,433 | 借入資本金 | 6,186,282 |
| 前払費用 | 1,829 | 剰余金(欠損金) | 7,334,637 |
| | | 資本剰余金 | 10,982,898 |
| | | 欠損金 | △ 3,648,261 |
| 合計 | 27,844,385 | 合計 | 27,844,385 |

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、218億4,507万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

| 区 分 | 期 首 未 償 還 額 | 当 期 借 入 額 | 当 期 償 還 額 | 期 末 未 償 還 額 |
|-----------|-------------|-----------|-----------|-------------|
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 建 設 企 業 債 | 7,983,149 | 206,000 | 2,002,867 | 6,186,282 |
| 合 計 | 7,983,149 | 206,000 | 2,002,867 | 6,186,282 |

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、40億5千万円です。

平成 2 3 年度後期京都市高速鉄道事業業務状況

1 事業概況

高速鉄道事業（地下鉄）は，烏丸線と東西線の 2 路線で市域を東西南北に貫き，他の鉄道路線との接続による広域的な鉄道ネットワークを形成するとともに，市内に網の目のように張り巡らせた市バス路線と合わせ，市民や観光客の主要交通機関として多様な都市活動を支えています。

高速鉄道事業は，一般的に建設費用が巨額であるため，収支の採算を確保するには極めて長期間を必要とする事業ですが，本市の場合，東西線の建設時期が建設費高騰のバブル期と重なったことに加えて，旅客数の大幅な増加が見込めないことなどから，全国一厳しい財政状況となっています。

2 経営健全化の取組

平成 2 2 年 3 月に議会の議決を得て策定した「京都市高速鉄道事業経営健全化計画」の 3 年目となる平成 2 3 年度後期は，将来にわたって地下鉄を安定的に運営していくという経営目標の達成を目指し，一層の経営健全化に取り組みました。

(1) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

2 3 年度が昭和 5 6 年 5 月 2 9 日の地下鉄開業から 3 0 周年に当ることから，「おかげさまで 3 0 周年 京都地下鉄まつり」をはじめとした様々な記念イベントを実施し，地下鉄の魅力向上に努めました。

さらに京都市内から比叡山まで観光する際に便利な企画乗車券として，本市地下鉄全線，京都バスの一部区間や叡山ロープウェイ等が一日乗り放題となる「地下鉄 & 比叡山きっぷ」を期間限定で発売しました。また，四季折々の地下鉄の利用促進ポスターを掲出したほか，地下鉄沿線のホテルとタイアップした「ホテルレストランラリー」を実施するなど，駅周辺の

集客施設と連携して、地下鉄の利用促進に取り組みました。

駅施設の一部を商業スペースとして有効活用する駅ナカビジネスでは、「コトチカ四条」に続き、地下鉄両線の結節駅である烏丸御池駅に「コトチカ御池」を23年5月に開業しました。さらに本市の玄関口である京都駅が、今まで以上に利便性の高い、賑わいのある空間となるよう、24年秋の一部開業及び25年春の全面開業に向けて、新たな商業空間「コトチカ京都」の整備に着手するなど、駅ナカビジネスの積極的な展開を図りました。

また、広告事業においては、烏丸線で前年度導入した各駅ホームの駅名表示板の下に、駅周辺の施設名称をPRした広告枠を、新たに東西線でも導入するなど、新規広告媒体の導入に努めました。

(2) コスト削減の取組

駅職員業務の一部民間委託化を新たに2駅で実施するなど職員数の削減を図るとともに、給与カットの継続により総人件費を削減しました。また、改集札機や券売機など地下鉄設備の更新期間を延長することで、費用の削減を図りました。

(3) 運輸成績

(平成23年10月1日から
平成24年3月31日まで)

| 区 分 | 当期 | 前年同期 | 増減 | 増減比率 |
|------------|-------------------------|-------------------------|----------------------|-----------------|
| 営業日数 (日) | 183 | 182 | 1 | 0.5% |
| 営業キロ数 (km) | 31.2 | 31.2 | - | - |
| 在籍車両数 (両) | 222 | 222 | - | - |
| 使用車両数 (両) | 45,026 (246) | 45,186 (248) | 160 (2) | 0.4% (0.8%) |
| 走行キロ数 (km) | 10,403,135 (56,848) | 10,340,692 (56,817) | 62,443 (31) | 0.6% (0.1%) |
| 旅 客 数 (人) | 60,291,593 (329,462) | 59,082,420 (324,629) | 1,209,173 (4,833) | 2.0% (1.5%) |
| 旅客収入 (千円) | 11,553,936 (63,136) | 11,310,740 (62,147) | 243,196 (989) | 2.2% (1.6%) |

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数，走行キロ数，旅客数，旅客収入の()内は，1日平均の数値である。

3 旅客収入は，消費税及び地方消費税を含む。

2 工事

当年度に施行した主な工事は、次のとおりである。

(1) 建設改良工事の概況

ア 営業線に関する建設改良工事

| 工 事 名 | 数量 | 金 額 | 着 工 日 年 月 日 | しゅん工 年 月 日 | 備 考 |
|---------------------------------------|----|-------------|----------------|---------------|-----|
| 10系車両A T S送受信器 | 一式 | 36,120,000 | 22.7.16 | 23.11.30 | |
| 10系車両A T S論理装置 | 一式 | 42,462,000 | 22.7.27 | 23.11.30 | |
| 10系車両S R指令無線装置 | 一式 | 43,890,000 | 22.9.14 | 23.4.27 | |
| 烏丸線駅舎照明設備更新工事 (鞍馬口駅) | 一式 | 68,260,500 | 22.11.25 | 23.9.29 | |
| 烏丸線駅舎照明設備更新工事 (北大路駅) | 一式 | 68,722,500 | 22.11.25 | 23.9.29 | |
| 高速鉄道烏丸線 駅電気室制御 用蓄電池鉛化工事(北大路駅 他) | 一式 | 56,700,000 | 22.12.25 | 24.2.27 | |
| 50系車両蓄電池 | 一式 | 10,710,000 | 23.1.22 | 23.6.30 | |
| 烏丸御池駅コンコース改修工事 (電気) | 一式 | 12,579,000 | 23.1.25 | 23.5.30 | |
| 烏丸御池駅コンコース改修工事 (建築) | 一式 | 44,173,500 | 23.1.25 | 23.5.31 | |
| 烏丸御池駅コンコース改修工事 (機械) | 一式 | 16,149,000 | 23.1.25 | 23.5.31 | |
| 高速鉄道烏丸線連動装置更新工 事(京都駅) | 一式 | 135,345,000 | 23.1.29 | 24.2.28 | |
| 10系車両低圧電源装置更新 | 一式 | 67,837,350 | 23.2.15 | 24.3.22 | |
| 10系車両A T C装置 | 一式 | 51,975,000 | 23.2.17 | 継続中 | |
| 50系車両運転状況記録装置 | 一式 | 23,310,000 | 23.2.17 | 継続中 | |
| 高速鉄道烏丸線姉小路変電所電 力設備更新工事 | 一式 | 946,890,000 | 23.2.19 | 継続中 | |
| 10系車両車体及びぎ装A T S装 置更新改修業務 | 一式 | 44,100,000 | 23.2.25 | 23.11.30 | |
| 高速鉄道湧水排水対策工事 | 一式 | 81,690,000 | 23.3.10 | 23.9.27 | |

| | | | | | |
|---------------------------|----|------------|----------|---------|--|
| 高速鉄道湧水排水対策工事監理業務委託 | 一式 | 16,800,000 | 23.3.10 | 23.9.27 | |
| 10系車両用車輪(第15編成) | 一式 | 25,622,940 | 23.4.1 | 24.1.10 | |
| 京阪電鉄淀駅高架化に係る定期券発行機等改修業務委託 | 一式 | 21,210,000 | 23.4.23 | 23.5.31 | |
| 烏丸線 電気検測車オーバーホール業務委託 | 一式 | 20,160,000 | 23.6.1 | 23.12.6 | |
| 東西線 電気検測車オーバーホール業務委託 | 一式 | 22,785,000 | 23.6.1 | 23.12.6 | |
| 烏丸線竹田車庫入換信号機等更新工事 | 一式 | 47,775,000 | 23.6.1 | 24.2.28 | |
| 高速鉄道烏丸線A T C現場設備等更新工事 その2 | 一式 | 65,100,000 | 23.6.28 | 24.3.22 | |
| 10系車両A T S送受信器 | 一式 | 45,150,000 | 23.6.30 | 継続中 | |
| 京都駅コンコース改修工事実施設計業務委託 | 一式 | 11,655,000 | 23.7.14 | 24.3.30 | |
| 10系車両A T S論理装置 | 一式 | 53,077,500 | 23.7.15 | 継続中 | |
| I Cカード共同社局サーバ利用権購入 | 一式 | 12,894,000 | 23.8.16 | 24.3.31 | |
| 10系車両ユニットクーラー | 一式 | 30,996,000 | 23.9.16 | 24.3.29 | |
| 烏丸線京都駅冷凍機更新工事 | 一式 | 45,801,000 | 23.10.8 | 24.3.28 | |
| 烏丸線四条駅他動力遠方操作盤等改修工事 | 一式 | 47,407,500 | 23.10.19 | 24.3.28 | |
| 社局ネットワーク再構築業務委託 | 一式 | 11,970,000 | 23.10.21 | 24.3.31 | |
| 烏丸御池駅便所改修工事(機械) | 一式 | 11,602,500 | 23.11.22 | 継続中 | |
| 烏丸線行先案内表示設備更新工事その6 | 一式 | 18,060,000 | 23.11.23 | 24.2.24 | |
| 改集札設備更新工事 | 一式 | 36,750,000 | 23.12.7 | 24.3.29 | |
| 京都市役所前駅改集札機更新工事 | 一式 | 44,100,000 | 23.12.7 | 継続中 | |
| 10系車両車体及びぎ装A T S装置更新改修業務 | 一式 | 55,125,000 | 23.12.7 | 継続中 | |

| | | | | | |
|---|----|-------------|----------|---------|--|
| 高速鉄道東西線放送設備更新工事その2 | 一式 | 25,179,000 | 23.12.8 | 24.3.28 | |
| 10系車両台車空気ばねゴム部品交換業務(6次車) | 一式 | 20,147,400 | 23.12.8 | 継続中 | |
| 近畿日本鉄道ICリアル定期発売に伴う駅務機器ソフトウェア改修作業業務委託 | 一式 | 35,700,000 | 23.12.9 | 24.3.30 | |
| 社局サーバ更新対応及びID駅集計機更新業務委託 | 一式 | 49,665,000 | 23.12.9 | 24.3.31 | |
| 10系車両モニタ装置更新 | 一式 | 39,375,000 | 23.12.14 | 継続中 | |
| 烏丸御池駅便所改修工事(建築) | 一式 | 24,549,000 | 23.12.15 | 継続中 | |
| 高速鉄道東西線 変電所制御用蓄電池鉛化工事(醍醐変電所他) | 一式 | 37,065,000 | 23.12.16 | 継続中 | |
| 東西線通信用電源装置更新工事その2 | 一式 | 21,903,000 | 23.12.22 | 24.3.30 | |
| 通信用電源装置バッテリー更新工事その6 | 一式 | 18,333,000 | 23.12.22 | 24.3.28 | |
| 烏丸線駅舎照明設備更新工事(丸太町駅) | 一式 | 65,100,000 | 23.12.28 | 継続中 | |
| ICカードシステムの全国相互利用拡大に伴う駅務機器ソフトウェア改修作業業務委託 | 一式 | 74,865,000 | 23.12.28 | 継続中 | |
| 高速鉄道烏丸線電力管理設備更新工事 | 一式 | 698,040,000 | 24.1.7 | 継続中 | |
| 京都駅コンコース改修工事(駅務機器) | 一式 | 23,940,000 | 24.1.18 | 継続中 | |
| 定期券発行機更新工事その6 | 一式 | 60,900,000 | 24.1.25 | 24.3.29 | |
| 高速鉄道烏丸線誘導灯改修工事 | 一式 | 10,430,700 | 24.2.3 | 継続中 | |
| 高速鉄道東西線誘導灯改修工事(その1) | 一式 | 18,606,000 | 24.2.3 | 継続中 | |
| 烏丸線電話交換機・総合伝送設備更新工事 | 一式 | 205,800,000 | 24.2.21 | 継続中 | |
| 東西線電話交換機・総合伝送設備更新工事 | 一式 | 279,300,000 | 24.2.21 | 継続中 | |
| 京都駅コンコース改修工事(その1) | 一式 | 231,000,000 | 24.2.28 | 継続中 | |
| ITV制御装置更新工事その2 | 一式 | 135,555,000 | 24.3.14 | 継続中 | |

| | | | | | |
|--------------------------|----|---------------|---------|-----|-----------------------------|
| 烏丸線駅舎照明設備更新工事 (烏丸御池駅) | 一式 | 89,145,000 | 24.3.20 | 継続中 | |
| 京都駅コンコース改修工事(その1) 監理業務委託 | 一式 | 12,474,000 | 24.3.20 | 継続中 | |
| 10系車両低圧電源装置更新 | 一式 | 72,240,000 | 24.3.22 | 継続中 | |
| 烏丸線京都駅ATC機器室空調機更新工事 | 一式 | 12,915,000 | 24.3.29 | 継続中 | |
| 鉄道施設の譲渡に対する対価等の支出 | 一式 | 4,855,910,695 | | | 平成20年度末 京都高速鉄道 ㈱から引継ぎ |

2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

平成23年10月1日から
(平成24年3月31日まで)

| 損失の部 | 金額 | 利益の部 | 金額 |
|----------|------------|----------|------------|
| | 千円 | | 千円 |
| 高速鉄道事業費用 | 19,753,644 | 高速鉄道事業収益 | 14,198,915 |
| 営業費用 | 13,131,176 | 営業収益 | 12,428,475 |
| 保存費 | 2,729,805 | 運輸収益 | 11,604,608 |
| 運転費 | 1,182,200 | その他 | 823,867 |
| 運輸費 | 2,011,134 | 営業外収益 | 1,770,440 |
| 管理費 | 1,060,878 | 他会計補助金 | 1,743,156 |
| 減価償却費 | 6,147,159 | その他 | 27,284 |
| 営業外費用 | 5,768,085 | | |
| 支払利息 | 4,946,770 | | |
| その他 | 821,315 | | |
| 特別損失 | 854,383 | | |
| 固定資産売却損 | 854,383 | | |
| その他特別損失 | 24,000 | | |
| | | 当期純損失 | 5,554,729 |
| 合計 | 19,753,644 | 合計 | 19,753,644 |

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在)

| 資 産 の 部 | 金 額 | 負債及び資本の部 | 金 額 |
|---------|-------------|-----------------|-------------|
| | 千円 | | 千円 |
| 固 定 資 産 | 563,600,740 | 固 定 負 債 | 187,774,047 |
| 有形固定資産 | 553,007,379 | 企 業 債 | 145,139,135 |
| 無形固定資産 | 9,533,307 | その他固定負債 | 42,634,912 |
| 建設仮勘定 | 1,004,454 | 流 動 負 債 | 33,409,743 |
| 投 資 | 55,600 | 一 時 借 入 金 | 27,100,000 |
| 流 動 資 産 | 2,558,848 | 未 払 金 | 4,221,330 |
| 現 金 預 金 | 529,519 | 預 り 金 | 316,878 |
| 未 収 金 | 1,434,851 | 前 受 金 | 550,065 |
| 貯 蔵 品 | 39,315 | 仮 受 金 | 1,221,470 |
| 前 払 金 | 553,974 | 資 本 金 | 453,637,163 |
| 前 払 費 用 | 1,189 | 自 己 資 本 金 | 189,207,872 |
| 繰 延 勘 定 | 260,675 | 借 入 資 本 金 | 264,429,291 |
| 企業債発行差金 | 260,675 | 剰 余 金 (欠 損 金) | 108,400,690 |
| | | 資 本 剰 余 金 | 227,614,128 |
| | | 欠 損 金 | 336,014,818 |
| 合 計 | 566,420,263 | 合 計 | 566,420,263 |

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、2165億3766万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

| 区 分 | 期首未償還額 | 当期借入額 | 当期償還額 | 期末未償還額 |
|-----------------|-------------|------------|------------|-------------|
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 建設企業債 | 235,402,617 | 2,936,000 | 16,925,064 | 221,413,553 |
| 出資債 | 32,000 | 0 | 0 | 32,000 |
| 特例債 | 13,814,393 | 810,000 | 2,343,857 | 12,280,536 |
| 資本費負担緩和 分企業債 | 85,910,402 | 425,000 | 1,701,803 | 84,633,599 |
| 資本費平準化債 | 40,570,000 | 7,655,000 | 0 | 48,225,000 |
| 鉄道・運輸 機構借入金 | 47,490,823 | 0 | 4,855,911 | 42,634,912 |
| 長期借入金 | 43,849,564 | 0 | 865,826 | 42,983,738 |
| 合 計 | 467,069,799 | 11,826,000 | 26,692,461 | 452,203,338 |

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は271億円です。

平成23年度後期京都市水道事業業務状況

1 事業の概況

(1) 概況

当期有収水量は、前年度同期に比べ139万立方メートル(1.6パーセント)減少し、8,567万立方メートルとなり、1日最大給水量は、前年度に比べ1万630立方メートル(1.7パーセント)減少の60万570立方メートルとなりました。

給水収益は、前年度同期に比べ3億217万円(2.2パーセント)減少となり、137億4,469万円となりました。また、当期総収益は、147億6,494万円となり、一方、当期総費用は、219億8,963万円となりました。

建設改良事業は、上水道施設整備事業として、松ヶ崎浄水場急速かくはん池改良工事、山ノ内ポンプ場整備(その1)工事及び洛西中継ポンプ場電気設備取替工事等を施工し、幹線配水管布設替え及び相互連絡管布設(延長1.9キロメートル)、支線配水管布設及び布設替え(延長15.2キロメートル)等を施工しました。

(2) 前年度実績との比較

平成23年度の実績を前年度と比べると、次のとおりです。

| 項目 | 単位 | 平成23年度 | 平成22年度 | 増減比率(%) |
|----------|----------------|-------------|-------------|---------|
| 使用者数 | 件 | 746,786 | 740,606 | 0.83 |
| 年間給水量 | m ³ | 201,463,740 | 204,795,990 | 1.63 |
| 年間有収水量 | m ³ | 172,917,410 | 176,339,032 | 1.94 |
| 有収率 | % | 85.8 | 86.1 | 0.3 |
| 1日平均給水量 | m ³ | 550,447 | 561,085 | 1.90 |
| 1日最大給水量 | m ³ | 600,570 | 611,200 | 1.74 |
| 1日平均有収水量 | m ³ | 472,452 | 483,121 | 2.21 |
| 使用電力量 | kwh | 41,803,691 | 43,335,242 | 3.5 |
| 次亜塩素酸注入量 | m ³ | 1,986 | 2,193 | 9.4 |
| 水道料金 | 千円 | 26,489,015 | 27,197,848 | 2.61 |
| 総収益 | 千円 | 28,519,596 | 29,274,366 | 2.58 |
| 総費用 | 千円 | 27,827,013 | 27,988,878 | 0.58 |

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成23年10月1日から平成24年3月31日まで)

| 損 失 の 部 | 金 額 | 利 益 の 部 | 金 額 |
|-------------------|------------|---------|------------|
| | 千円 | | 千円 |
| 水道事業費用 | 21,989,625 | 水道事業収益 | 14,764,935 |
| 営業費用 | 18,999,742 | 営業収益 | 14,684,833 |
| 原水費 | 540,408 | 給水収益 | 13,744,688 |
| 浄水費 | 1,891,364 | 他会計負担金 | 36,877 |
| 配水及び給水費 | 2,885,878 | その他営業収益 | 903,268 |
| 業務費 | 1,327,222 | 営業外収益 | 80,102 |
| 総係費 | 1,627,011 | 受取利息 | 5,874 |
| 減価償却費 | 10,472,667 | 他会計補助金 | 20,939 |
| 資産減耗費 | 255,186 | 雑収益 | 53,289 |
| その他営業費用 | 6 | | |
| 営業外費用 | 2,989,883 | | |
| 支払利息及び 企業債取扱諸費 | 1,791,956 | | |
| 繰延勘定償却 | 4,715 | | |
| 雑支出 | 57,124 | | |
| 消費税及び地方 消費税調整額 | 592,983 | | |
| 消費税及び地方 消費税納税額 | 543,105 | | |
| | | 当期純損失 | 7,224,690 |
| 合 計 | 21,989,625 | 合 計 | 21,989,625 |

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

| 資 産 の 部 | 金 額 | 負債及び資本の部 | 金 額 |
|---------|-------------|---------------|-------------|
| | 千円 | | 千円 |
| 固 定 資 産 | 282,356,317 | 固 定 負 債 | 4,079,482 |
| 有形固定資産 | 278,370,185 | 企業債償還金 積立金 | 2,474,230 |
| 無形固定資産 | 2,061,523 | 引当金 | 1,605,252 |
| 投 資 | 1,924,609 | | |
| | | 流 動 負 債 | 4,004,143 |
| 流 動 資 産 | 14,012,937 | 未払金 | 3,189,188 |
| 現金預金 | 7,270,558 | 前受金 | 375,989 |
| 未収金 | 2,814,739 | 預り金 | 238,966 |
| 貯蔵品 | 338,766 | 預り有価証券 | 200,000 |
| 保管有価証券 | 200,000 | | |
| 短期貸付金 | 3,000,000 | 資 本 金 | 189,212,589 |
| 前払金 | 388,874 | 自己資本金 | 29,317,020 |
| 繰 延 勘 定 | 9,155 | 借入資本金 | 159,895,569 |
| 企業債発行差金 | 9,155 | | |
| | | 剰 余 金 | 99,082,195 |
| | | 資本剰余金 | 93,382,875 |
| | | 利益剰余金 | 5,699,320 |
| 合 計 | 296,378,409 | 合 計 | 296,378,409 |

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,896億9,528万円です。

備考 2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成24年3月31日現在)

| 区 分 | 期首未償還額 | 当期借入額 | 当期償還額 | 期末未償還額 |
|-------|-------------|-----------|-----------|-------------|
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 建設企業債 | 157,543,396 | 9,577,549 | 4,751,146 | 162,369,799 |
| 合 計 | 157,543,396 | 9,577,549 | 4,751,146 | 162,369,799 |

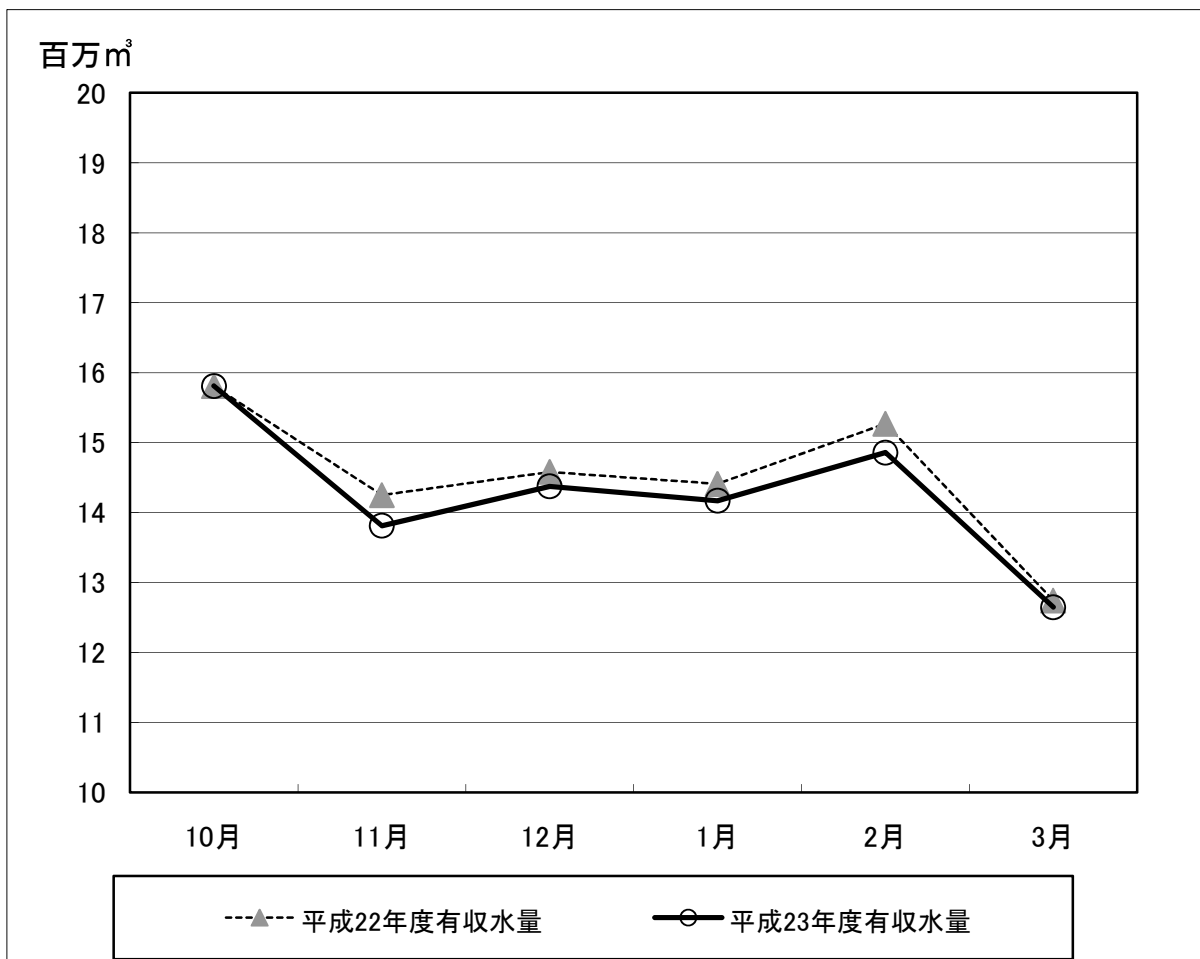
(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収水量

当期における有収水量は、次のとおりです。

| 月別 / 項目 | 有収水量 |
|----------|----------------|
| 平成 | m ³ |
| 23年 10月 | 15,809,341 |
| " 11月 | 13,811,814 |
| " 12月 | 14,376,366 |
| 24年 1月 | 14,169,762 |
| " 2月 | 14,858,173 |
| " 3月 | 12,649,247 |
| 合計 | 85,674,703 |
| 1日平均 | 468,168 |
| 前年同期1日平均 | 478,369 |



平成23年度後期京都市公共下水道事業業務状況

1 事業の概況

(1) 概況

当期有収汚水量は、前年度同期に比べ156万立方メートル（1.6パーセント）減少し、9,413万立方メートルとなり、1日最大流入下水量は、前年度に比べ8万5,292立方メートル（2.2パーセント）減少の375万5,718立方メートルとなりました。

下水道使用料は、前年度同期に比べ3億292万円（2.3パーセント）減少し、125億5,972万円となりました。また、当期総収益は、238億2,250万円となり、一方、当期総費用は、341億4,633万円となりました。

建設改良事業について、管渠^{きよ}では、前年度に引き続き七条東幹線、河原町分流幹線等の各幹線工事を施工しました。

ポンプ場では、前年度に引き続き石田ポンプ場で雨水沈砂池設備の工事を施工しました。

終末処理場では、前年度に引き続き鳥羽水環境保全センターで階段炉乾燥設備の工事を、伏見水環境保全センターで汚泥圧送設備の工事を施工しました。また、石田水環境保全センターで高圧電気設備の工事を施工しました。

(2) 前年度実績との比較

平成23年度の実績を前年度と比べると、次のとおりです。

| 項目 | 単位 | 平成23年度 | 平成22年度 | 増減比率(%) |
|------------|----------------|-------------|-------------|---------|
| 整備区域 | ha | 15,247 | 15,244 | 0.02 |
| 年間流入下水量 | m ³ | 337,608,940 | 337,906,590 | 0.09 |
| 年間有収汚水量 | m ³ | 189,592,900 | 192,757,312 | 1.64 |
| 1日平均流入下水量 | m ³ | 922,430 | 925,770 | 0.36 |
| 1日最大流入下水量 | m ³ | 3,755,718 | 3,841,010 | 2.22 |
| 年間平均有収汚水量 | m ³ | 518,013 | 528,102 | 1.91 |
| 年間下水処理量 | m ³ | 337,807,340 | 337,623,850 | 0.05 |
| 使用電力量 | kwh | 99,805,258 | 103,621,475 | 3.68 |
| 整備管渠延長 | m | 5,430,682 | 5,414,084 | 0.31 |
| 下水道使用給水装置数 | 件 | 540,700 | 537,777 | 0.54 |
| 下水道使用料 | 千円 | 24,114,368 | 24,666,101 | 2.24 |
| 総収益 | 千円 | 46,067,412 | 46,999,033 | 1.98 |
| 総費用 | 千円 | 42,442,490 | 43,196,412 | 1.75 |

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成23年10月1日から平成24年3月31日まで)

| 損 失 の 部 | 金 額 | 利 益 の 部 | 金 額 |
|-------------------|------------|-----------|------------|
| | 千円 | | 千円 |
| 公共下水道事業用 | 34,146,331 | 公共下水道事業収益 | 23,822,501 |
| 事業費用 | 28,525,716 | 事業収益 | 23,506,314 |
| 下水道維持費 | 1,426,444 | 下水道使用料 | 12,559,720 |
| 下水処理費 | 5,600,585 | 他会計負担金 | 10,701,239 |
| 業務費 | 638,722 | その他事業収益 | 245,355 |
| 水洗便所普及 対策費 | 78,863 | | |
| 総係費 | 1,125,825 | 事業外収益 | 316,187 |
| 減価償却費 | 19,335,484 | 受取利息 | 9,090 |
| 資産減耗費 | 319,793 | 他会計負担金 | 179,847 |
| 事業外費用 | 5,620,615 | 他会計補助金 | 68,427 |
| 支払利息及び 企業債取扱諸費 | 4,631,663 | 国庫補助金 | 1,550 |
| 繰延勘定償却 | 15,057 | 雑収益 | 57,273 |
| 雑支出 | 26,963 | | |
| 消費税及び地方 消費税調整費 | 451,623 | | |
| 消費税及び地方 消費税納税額 | 495,309 | 当期純損失 | 10,323,830 |
| 合 計 | 34,146,331 | 合 計 | 34,146,331 |

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

| 資 産 の 部 | 金 額 | 負債及び資本の部 | 金 額 |
|---------|-------------|--------------|-------------|
| | 千円 | | 千円 |
| 固 定 資 産 | 876,758,078 | 固 定 負 債 | 43,365,991 |
| 有形固定資産 | 874,052,858 | 企業債償還金 積立 | 23,375,305 |
| 無形固定資産 | 2,665,862 | 企 業 債 | 19,125,150 |
| 投 資 | 39,358 | 他会計借入金 | 425 |
| | | 引 当 金 | 865,111 |
| 流 動 資 産 | 26,465,983 | 流 動 負 債 | 8,568,457 |
| 現金預金 | 17,253,840 | 未 払 金 | 7,946,616 |
| 未 収 金 | 3,547,953 | 前 受 金 | 305,208 |
| 貯 蔵 品 | 7,235 | 預 り 金 | 135,633 |
| 保管有価証券 | 181,000 | 預り有価証券 | 181,000 |
| 短期貸付金 | 5,000,000 | | |
| 前 払 金 | 475,955 | 資 本 金 | 500,996,320 |
| 繰 延 勘 定 | 17,251 | 自 己 資 本 金 | 167,466,923 |
| 企業債発行差金 | 17,251 | 借 入 資 本 金 | 333,529,397 |
| | | 剰 余 金 | 350,310,544 |
| | | 資 本 剰 余 金 | 346,685,622 |
| | | 利 益 剰 余 金 | 3,624,922 |
| 合 計 | 903,241,312 | 合 計 | 903,241,312 |

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,986億286万円です。

備考 2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成24年3月31日現在)

| 区 分 | 期首未償還額 | 当期借入額 | 当期償還額 | 期末未償還額 |
|------------------|-------------|------------|------------|-------------|
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 建設企業債 | 362,300,534 | 23,508,586 | 30,026,268 | 355,782,852 |
| 資 本 費 平 準 化 債 | 14,706,000 | 5,541,000 | 0 | 20,247,000 |
| 合 計 | 377,006,534 | 29,049,586 | 30,026,268 | 376,029,852 |

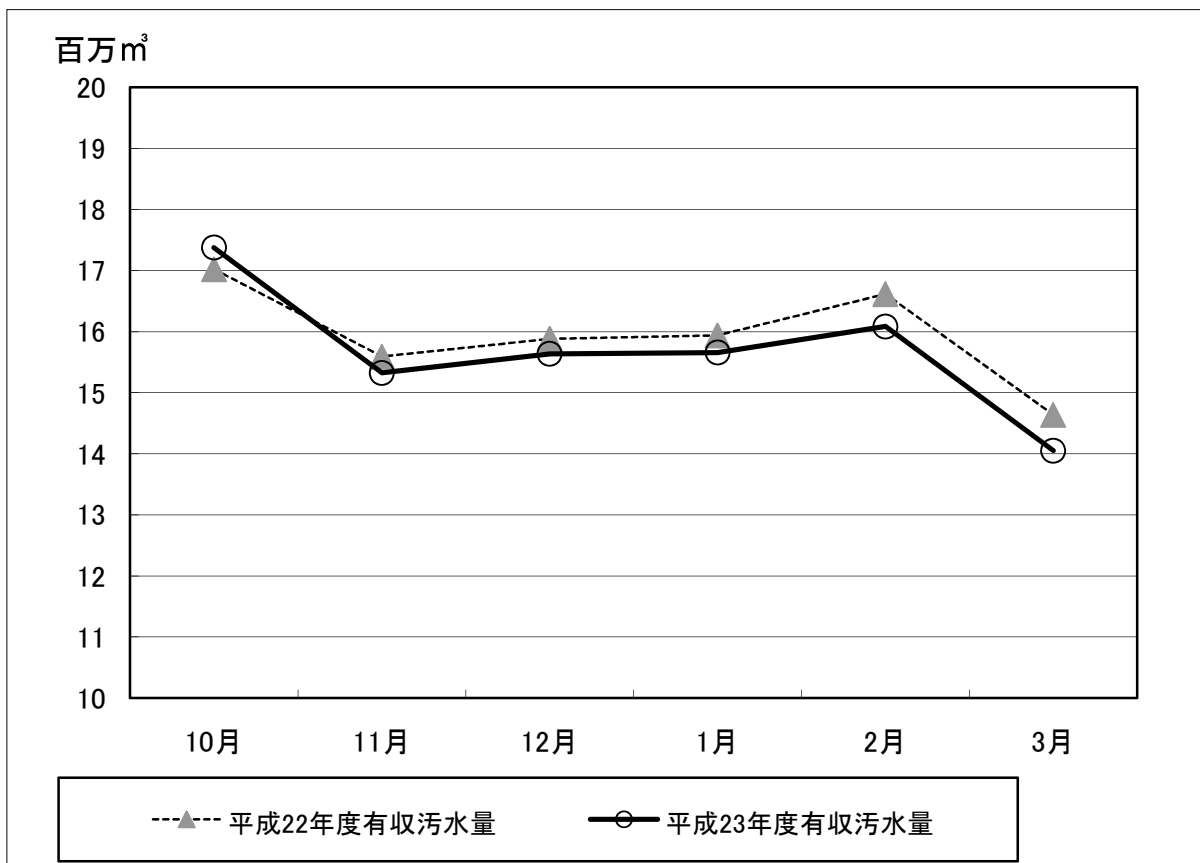
(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収汚水量

当期における有収汚水量は、次のとおりです。

| 月別 / 項目 | 有収汚水量 |
|----------|----------------|
| 平成 | m ³ |
| 23年 10月 | 17,376,721 |
| " 11月 | 15,324,736 |
| " 12月 | 15,637,122 |
| 24年 1月 | 15,657,721 |
| " 2月 | 16,084,078 |
| " 3月 | 14,051,429 |
| 合計 | 94,131,807 |
| 1日平均 | 514,381 |
| 前年同期1日平均 | 525,776 |



(行財政局総務部総務課)